

社会資本総合整備計画

三峰川流域地区都市再生整備計画

平成23年3月30日

長野県伊那市

都市再生整備計画(第6回変更)

みぶがわりゅういき
三峰川流域地区

長野県 いな伊那市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	伊那市	地区名	三峰川流域地区	面積	700 ha
計画期間	平成 18 年度	～	平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度	～	平成 22 年度

<p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存観光施設の整備・充実と、地域の資源・特色をいかした新観光スポットの創出などによる年間を通じた観光客の誘致 2. 市の観光財産である「タカトコヒガンザクラ」の保護・育成、またそれらの地域資源を生かした日本一の桜の里づくり 3. 古い歴史と豊かな文化の魅力が溢れる地域づくり 4. 居住地域において高齢者から子どもまでが安全で快適に過ごせる生活環境（交通手段）の確保

<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高遠ダムを取水源とした農業用幹線水路の整備により水路橋として築造されたこの『虹橋』は、農業用水路として三峰川沿岸の約1,200haの農地で利用されています。水路橋上部は、国道361号線（高遠地区）と対岸の河南地区の住宅集中地域（学校施設等含む）をつなぎ、地域住民や高遠高校の生徒が利用しています。周辺には高遠小学校がありますが、歩道部分の手すりが低く、国道から虹橋をつなぐ接続道が急な階段となっているため、現在は中学生以下の子どものみでの通行が規制されています。そのような現状により、地域住民からは日常生活に密着するこの『虹橋』を子どもからお年寄りまで誰もが安心して通行できる橋へ改修を望む声が多くあがっていました。今回、県の事業で虹橋本体の耐震強化改修を行うこととなり、今までは急勾配で危険だった国道からの接続道を廃止し、子どもから高齢者、また車椅子の方でも自由に歩行できる虹橋歩道部分へのアプローチ道路（市道虹橋枝線）を新設いたします。この虹橋からは東に高遠城址公園と南アルプス、西に中央アルプスを望み、その美しい眺望は『後世に伝えたい20世紀の高遠十景』橋のある風景部門にも選出されており、多くの写真家や観光客が集まる新名所としての賑わい期待が高まります。また今回の事業により観光拠点である高遠城址公園を中心として、地域内を縦断する国道152号線と国道361号線を巡回する周遊歩道コースが整備されることとなり、地域内に数多く点在する神社、仏閣などの歴史・文化的な遺産や施設を巡る新しい観光メニューの創出を図ることができます。 2. 旧高遠町区域には郷土が生んだ偉大な芸術家たちが制作した美術作品や、文化的な資料が数多くあります。信州高遠美術館では3,000点にもおよぶ収蔵作品や冊子、その他の資料を今まで書類によって台帳管理してきました。台帳管理では作品の検索に時間がかかり、作品の管理状況などの把握も困難です。また未登録の資料なども多数あり、作品展示と保存・研究、また芸術的風土を次世代へ確実に継承するためにも、これらをデータ管理する必要があります。平成17年度に実施するCATV整備事業によって旧高遠町区域全体に光ケーブル網が整備され、高速通信環境が実現します。これによって市内外に向けてインターネットを通じて作品の紹介や各種文化事業のネット配信等が可能となり、その効果が大きく期待されています。 3. 東高遠地区、河南地区は多くの住民が生活しているがバスなどの公共交通機関がない地域となっています。自動車などを所有しない高齢者が通院や買い物などをするために様々な苦労が伴います。それらに対応するために地域住民が便利で気軽に使えるような交通網の確保、また利用者の経済的な負担軽減を図る必要があります。 4. 桜の名所として広く知られている高遠城址公園では毎年観桜期になると全国から約30万人もの観光客が訪れます。貴重な観光資源であるタカトコヒガンザクラをはじめ公園内には1,500本以上の桜があり、年間を通じて専門の知識や技術をもつ桜守・旧伊那市・高遠町、長谷村の合併により誕生した新伊那市は、高遠城址公園を中心に三峰川流域や市内に点在する桜の保護・育成を進め「日本一の桜の里づくり」を目指します。また公園内はもとより周辺の環境整備も進められており、「花いっぱいのみち」を目指し、住民参加のもと花や緑の育成に力をいれて桜の時期以外にも魅力があふれるまちづくりをすすめています。

<p>課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 虹橋歩道部分へのアプローチ道路及び周辺道路の整備（⇒ 地域間[高遠地区・河南地区]を結ぶ地域住民にとって重要な道路 ⇒ 安全性などを理由に通行制限あり、国道361号線からの接続は急斜面の階段のみ） 2. 美術館収蔵作品データ管理、歴史博物館収蔵庫増築（⇒ 文化的・歴史的に貴重な作品、資料を多数収蔵 ⇒ 管理が困難で、現在それらを活用できていない ⇒ 収蔵品の保存状態の悪化、企画展等に影響、入場者減の要因） 3. 足の確保が難しい住民への対応（⇒ 公共交通機関の路線がない地域の高齢者 ⇒ 通院、買い物などで街へ足を伸ばすことが困難 ⇒ さらに経済的負担の心配 ⇒ 家から出られなくなってしまう、健康面などに影響） 4. 貴重な観光資源の保護、新しいまちの魅力の発見（⇒ 多くの観光客が訪れ、まちが活気付く観桜期に備えて、年間を通しての桜の保護・育成が必要 ⇒ 観桜期だけでなく、年間を通しての観光客の誘致 ⇒ 花や緑、自然など地域の特色を生じた住民参加によるまちづくり）

<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>「日本一の桜の里づくり」をめざして</p> <p>伊那市は、豊か自然に包まれ、長い歴史との中で培われてきた文化や先人が残してきた多くの遺産を引き継ぎ、これらを現代に活かして発展してきました。今後も個性的で魅力の溢れる「うるおいと誇りある郷土」を目指し、これまでの住民参加による地域の活性化と日常生活でのインフラの整備を柱にした「桜からのまちづくり」による成果の上に、合併による地域住民の交流を進めていくことが大切です。</p> <p>人と人、地域と地域のつながりをより一層深め、歴史と文化のまちの特徴を活かしたまちづくり、安心して楽しく生活ができるまちづくりを目指していきます。</p>

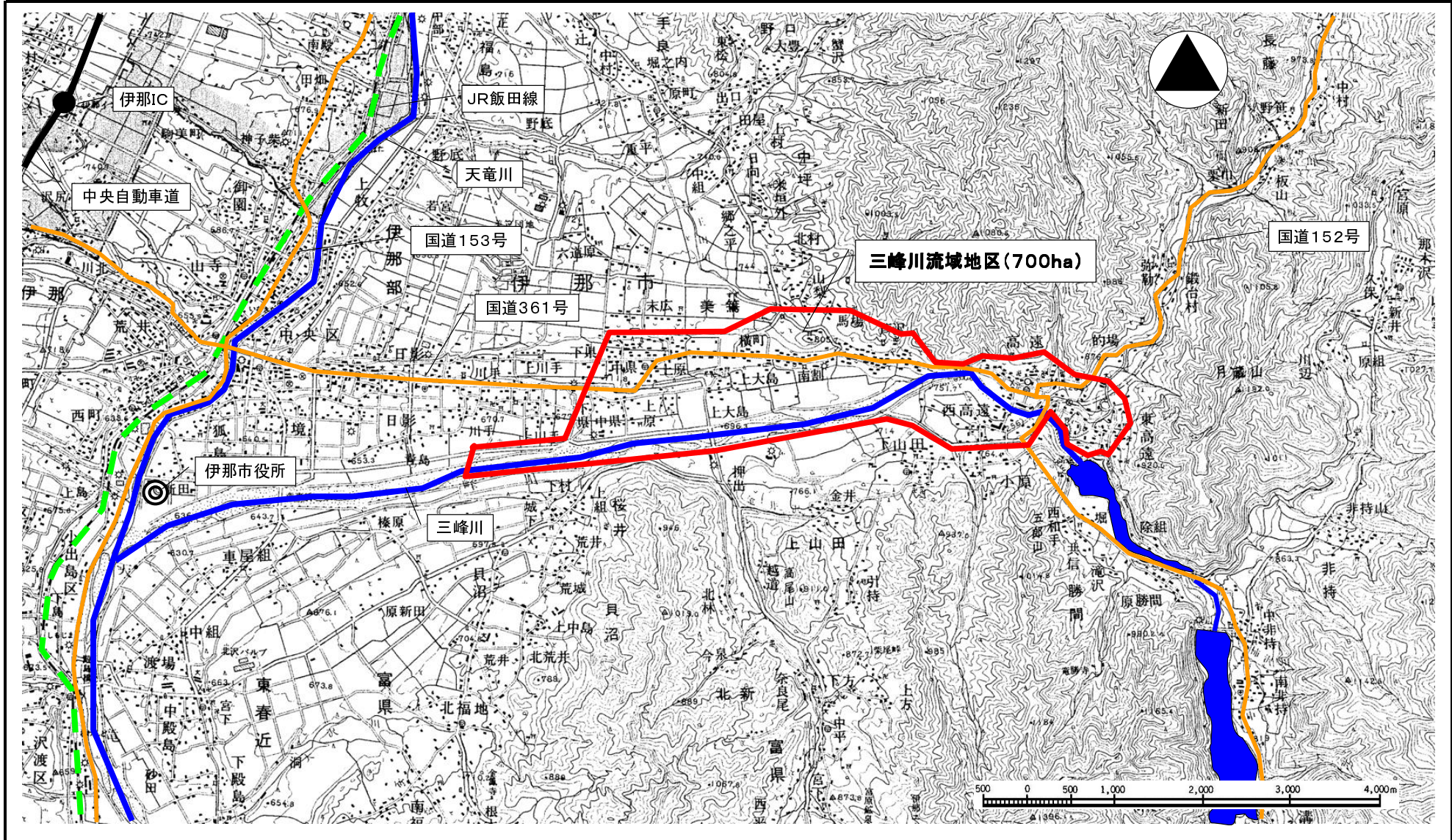
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
虹橋通行者数	人	観桜期における通行者数	規制していた小学生（通学）や、通行に困難だった高齢者、障害者（車椅子）の通行が可能となる。また観桜期には観光客や新しいカメラスポットとしてカメラマンが訪れることが期待される。	6	平成16年度	観桜期（4月）600人/月	平成22年度
信州高遠美術館入館者数	人	入館者数 10%増	情報通信系設備の整備により、インターネットを活用したPRと特別展等の実施。収蔵品の増加に伴う展示室の増築。	23,022	平成16年度	25,324	平成22年度
地域交流センターの利用者数	人	利用者数 50%増	地域交流センターを整備することにより、地域住民の交流を推進し合併による一体感を高め、まちづくりを推進する。	12,020	平成17年度	18,030	平成22年度
高遠城址公園観桜期入場者数	人	入場者数 10%増	桜守によるタカトコヒガンザクラの保護・育成。城址公園内の観桜環境の向上による観光客の増加。	314,778	平成17年度	346,256	平成22年度
循環タクシー乗車人数	人	1便あたりの平均乗車人数 15%増	公共交通機関がない地域における住民の足として、高齢者が通院や買い物の際などに有効に利用してもらう。	2.3	平成16年度	2.6	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>■新たな観光メニューの創出、居住中心地域における高齢者から子どもまでの安全で快適な生活環境の向上</p> <p>①観光拠点である高遠城址公園を中心とした地区内の歴史的・文化的施設を周遊する散策歩道コースの策定</p> <p>②居住集中地域における生活道路の利便性の向上</p> <p>③子どもからお年寄り、障害者、誰もが安心して利用できる道路施設の整備</p> <p>④災害等の非常時における避難路としての機能確保による安心・安全なまちづくりの推進</p> <p>⑤「後世に伝えたい20世紀の高遠十景」(橋のある風景部門)に選出されている虹橋から望む高遠城址公園の美しい眺望は、観桜期には新たな観光スポット(カメラスポット)</p>	<p>○虹橋周辺整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道361号線との虹橋歩道部分を接続するアプローチ道路(市道虹橋枝線)の新設 ・虹橋に接続する河南地区側の市道馬場脇支線1号の拡幅、舗装修繕
<p>■歴史と文化のかおり高いまちを目指し、ゆとりと創造力豊かな人間性を育む教育に向けて</p> <p>①歴史的、文化的遺産と有形無形地域伝統文化の保存・継承</p> <p>②多くの偉大な先人の業績、作品を現代に生かして後世に伝える</p> <p>③芸術・文化の自主的な創作活動を促進・支援し、美術館や歴史博物館で、それらを生かした事業の充実</p> <p>④歴史的にも貴重な収蔵品の保存状態の改善</p> <p>⑤インターネット等を利用した、収蔵作品の検索、閲覧。また、光ケーブル情報通信網を利用した事業のネット中継・配信</p> <p>⑥駐車場等の整備により、歴史・文化に気軽に触れる機会を創出する</p>	<p>○美術館収蔵作品のデータ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵作品の整理(現況調査) ・データベース構築作業 <p>○歴史博物館収蔵庫増築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵作品の増加による増築 ・増築部分の電気設備、空調設備、給排水工事等 <p>○民俗資料館駐車場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料館の駐車場の整備
<p>■地域住民の足の確保</p> <p>①公共交通機関がない地域における住民のための交通網の整備</p> <p>②運賃負担軽減により経済的な不安を解消し、誰でも安全で気軽に利用できるシステムによる安定的な足の確保を目的とする</p> <p>③1人暮らしや自家用車を所有していない高齢者の買い物や通院、またその他のニーズに対応したコース設定</p>	<p>○地域住民の足の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般貸切旅客自動車運送業務による乗合旅客運送の許可を受けた市内のタクシー業者2社が2コース(東高遠コース【要予約】、河南コース【定時運行】)により循環タクシーを運行。 ・気軽に利用できる運賃設定。(利用者は中学生以上200円、小学生以下100円の運賃でタクシーに乗車することができる。残りの運賃は市から使用料としてタクシー業者に支出される)
<p>■貴重な観光資源の保護・育成、地域の特性を生かすことによる年間を通じた観光客の誘致</p> <p>①市内観光の拠点、高遠城址公園のタカトオコヒガンザクラをはじめ、市内に点在して生育するサクラの保護・育成</p> <p>②桜守の人材育成、また桜を伝承するために、周到な増殖計画のもと研究を重ね、タカトオコヒガンザクラの特性が失われないよう純粋な種苗の育成につとめる</p> <p>③合併による地域住民の交流を深め、日本一の桜の里づくりをすすめる</p> <p>④住民参加による花の丘公園など周辺の環境整備、緑化などで地域の特色を生かしたまちづくりをすすめる</p>	<p>○タカトオコヒガンザクラの保護・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内にある約1,500本のタカトオコヒガンザクラを桜守による年間をとおした保護・育成(監視、施肥、剪定、消毒) ・高遠町桜憲章により、市内に点在して生育するサクラについても同様の認識により保護・育成する ・城址公園や周辺地域また市内各所における緑化の推進 <p>○美篤地域交流センター(仮称)の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センターを利用し地域住民(旧伊那地区・高遠町地区)の交流を深め、日本一の桜の里づくりをすすめる ・市道杖突街道線、美篤小西線の整備
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

三峰川流域地区(長野県伊那市)	面積 700 ha	区域 高遠地区の一部及び河南地区の一部、美篤地区の一部
-----------------	--------------	--------------------------------



三峰川流域地区(長野県伊那市) 整備方針概要図

目標	1. 居住中心地域における高齢者から子どもまでが安全で快適に過ごせる生活環境の向上	代表的な指標	観桜期における虹橋通行者数 (人)	6	(H16年度)	→	観桜期(4月)600人/月	(H22年度)
	2. 歴史と文化のかけ高い町を目指し、ゆとりと創造力豊かな人間性を育む環境地盤の整備		地域交流センターの利用者数 (人/年)	12,020	(H17年度)	→	18,030	(H22年度)
	3. 既存施設の整備・充実と、新たな観光目玉の創出により、年間を通じた観光客の誘致		高遠城址公園観桜期入場者数 (人/年)	314,778	(H17年度)	→	346,256	(H22年度)

